



令和6年9月18日
国土交通省中部地方整備局
中部技術事務所

【出前講座】” 災害について学ぶ” 港南中学校の1年生が災害対策用機械を体験 ～中部技術事務所の災害対策用機械を防災教育へ派遣～

1 概要

中部技術事務所では、災害時の復旧支援といった国土交通省の取り組みを広く知っていただくため、小中学校の授業へ災害対策用機械とともに出張し、出前講座を行っています。

国土交通省の災害対策用機械を間近で見学したり、実際に触れて動かすこともできます。

2 内容等

日時：令和6年10月16日（水）13時00分～14時40分

場所：名古屋市立港南中学校
（名古屋市港区稲永1-4-39）

内容：中部技術事務所が保有する災害対策用機械を用いて
国土交通省の災害支援について紹介
今回は、対策本部車・排水ポンプ車・照明車です。

参加者：名古屋市立港南中学校1年生60人

報道取材：全般において取材が可能です。

ただし、個人が特定されないよう配慮願います。

3 資料：添付資料

4 配布先：中部地方整備局 記者クラブ

5 問合せ先：国土交通省 中部地方整備局 中部技術事務所

副所長 大坪 晋作 TEL:052-723-5701（代表）

技術情報管理官 松本 博樹 FAX:052-723-5707

6 その他：災害が発生または防災体制時には出前講座を中止します。

取材をご希望の方は **10月4日（金）** までに上記5へ連絡をお願いします。

保有機械一覧

【排水ポンプ車】



30m³/min級



60m³/min級、高揚程型

台風や豪雨などによる浸水被害を最小限に防ぐため排水作業を行う車両です。排水作業に必要な水中ポンプ・ホース・発電機を備えています。

【対策本部車】



拡幅型

災害現場の最前線において、情報収集や応急対策の検討、現場指揮を行う現地对策本部となる車両です。拡幅すると約13畳の広さになります。

【照明車】



10m級



20m級

夜間や悪天候時に安全に作業できるよう現場を明るく照らすことができる車両です。

【待機支援車】



小型4床式

災害現場で活動する作業員の休憩場所として使用する車両です。仮眠用のベッドを4人分備えています。

【衛星通信車】



車載式

日本国内ならどこからでも衛星を通じて画像や音声を伝送することができます。災害現場の情報をリアルタイムに把握することに活用されています。

【無人化施工バックホウ】



1.0m³ 分解型

大雨や地震による土砂災害現場で、遠隔操作により復旧作業を行うことができます。また、13分割して空輸することもできます。

【簡易遠隔操縦装置】



ロボQS

既存のバックホウを改造することなく現場でそのまま簡単に取り付けて、専用の操作用無線機で遠隔操縦することができます。

【応急組立橋】



上路ワーレントラス式

被災した橋に代わって短期間で緊急的に架設できる組立式の橋です。20トンまでの荷重に耐え、支間長16～40mまで2mピッチで任意の長さで架設できます。

【投下型水位計】



圧力式

崩落した土砂で河川が堰き止められた場合などに水位を観測するための機械です。ヘリコプターから投下することができ、衛星通信により位置と水位を監視します。

主な災害対策支援実績

平成28年熊本地震

熊本県阿蘇郡南阿蘇村へ無人化施工バックホウを派遣。遠隔操縦で土砂撤去作業を実施。



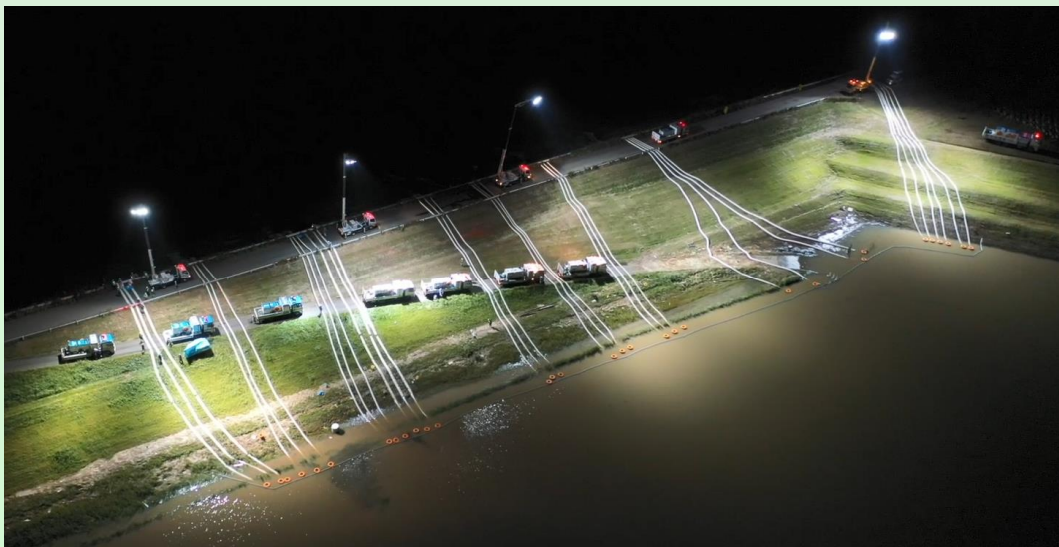
平成30年7月豪雨（西日本豪雨）

高梁川・小田川（岡山県倉敷市）へ排水ポンプ車、照明車を派遣し、排水作業を実施。



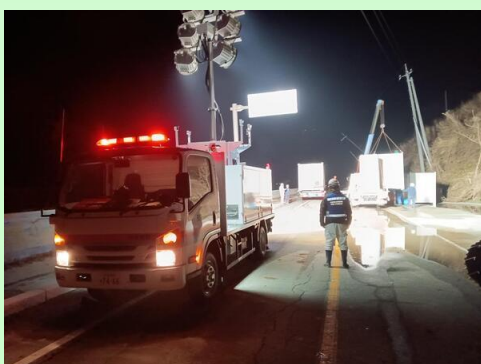
令和元年台風19号（東日本台風）

吉田川・鶴田川（宮城県大崎市）へ排水ポンプ車、照明車を派遣し、排水作業を実施。



令和6年能登半島地震

石川県珠洲市及び輪島市へ照明車を派遣。国道249号の夜間道路啓開作業（土砂撤去作業）を支援。



防災啓発

【訓練参加（自治体・防災関係機関等）】



【体験見学開催（一般・学校・企業・行政等）】



【就業体験実習（高校・高専・大学）】



【出前講座（小学校・中学校）】



【操作訓練（災害協定業者）】

